

# 市

## を語る 1

### 越前市 (福井県)

越前市長

やまだけんいち  
山田賢一

# わが

## 幸せを実感できるふるさと 〜ウエルビーイングの越前市〜

紫式部がただ一度、都を  
離れて暮らした越前国府

越前市は、福井県のほぼ中央に  
位置し、周囲を400から700  
m級の山々に囲まれた、人口8万  
人、面積230・7kmを有するま

ちです。

本市の歴史は大変古く、古代、  
北陸地方が越の国と呼ばれた頃か  
ら開けた地域で、国府が置かれ、  
中世には府中として、政治、経済、  
文化の中心として栄えてきました。  
中心市街地には多くの社寺、伝

多感な青春時代をこの地で過ごし  
ました。越前での暮らしは、源氏  
物語を残した式部の才能を開花さ  
せた貴重な時間であったと考えら  
れています。

統産業、建造物が  
残されており、越前  
打刃物や呉服、指  
物などの商家、町屋  
が軒を連ね、現在  
もその面影あるま  
ち並みが静かに息  
づいています。

令和6年の大河

ドラマ「光る君へ」  
の主人公、紫式部  
が、国司の父と共  
に、生涯でただ一  
度、京の都を離れ、

### 世界に誇る本物の技!

本市には、3つの伝統的工芸品  
があります。1500年の歴史を  
もつ越前和紙は、昔から品質の高

さに定評があり、明治の初期ごろ  
までは奉書紙や奉書紬の産地とし  
て、明治時代には新紙幣「太政官  
札」が漉かれ、現在の紙幣にも使  
われる「黒透かし」の技法が生み  
出されるなど、今なお高い技術を  
保ち、手すき和紙の生産額は全国  
トップを誇っています。

全国の刃物産地で最初に伝統的  
工芸品の指定を受けた越前打刃物  
は、約700年の歴史があり、近  
年では伝統技術に現代デザインを  
掛け合わせた包丁が世界から高い  
評価を受け、国内外の一流シェフ



手すき和紙生産日本一を誇る越前和紙



市の中央を流れる「日野川」と越前富士「日野山」(左奥)



寝殿造庭園の紫式部公園



世界の一流シェフが愛好する越前打刃物

から生産が追い付かないほどの人気を集めています。

また、越前箆筒は釘を用いない技術を使った和箆筒で、金具には打刃物、漆塗りには漆器など、越前ならではの伝統技術が合わさって作られています。

ています。その歴史は古く、法隆寺の国宝・橘夫人厨子の台座に「越前」と筆で墨書されており、この厨子の製作に携わった越前の工匠が書いたものだと言われています。このように、長く受け継がれてきた伝統産業に加え、県内随一で本市固有の文化や歴史、食や自然が豊かに残っています。今後は、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指し、都市間の文化・芸術・産業の活発な交流により、千年の歴史を礎に、さらなる新時代への創造を図ってまいります。

## 来春、北陸新幹線 福井県延伸！

令和6年3月には、北陸新幹線が福井県に延伸されます。新設さ

れる「越前たけふ駅」は、本市に飛来するコウノトリをモチーフに、美しい自然環境を未来へつないでいくシンボルとなる駅をイメージしてデザインされています。

また、新幹線駅に隣接して道の駅「越前たけふ」が本年3月に開業しました。越前ガニなどの新鮮な海産物や越前おろしそばなど地元食文化を堪能でき、伝統工芸にも触れることができます。武生ICや国道8号線とも近接する交通結節点であるとともに、人流・物流の結節点にしていきたいと考えています。新幹線開業は地域の活性化する好機ですので、地域の潜在力を生かしていくために、企業の研究開発拠点や、商業施設や交流施設などを一体で整備する構想も持っています。多様な産業拠点の集積により、若者のUIJターンを示現させるなど、多くの人が集い交流するクリエイティブに成長するまちを目指してまいります。

## ウェルビーイングの越前市

本市は、本年3月に新しい市総合計画を策定し、2040年に向けてのふるさとづくりの理念を「幸せを実感できるふるさと」

ウェルビーイングの越前市」としました。

幸福の実感には、子育てや教育などへの満足や充足感という個人や家族の幸福と、地域の祭りや社会奉仕、文化活動など「コミュニティにおける幸福」があると考えられます。わたしたちの幸福実感を最大化するという視点から、地域の人と心地よくつながり、自分らしく居られる「居場所」と、自

## プロフィール

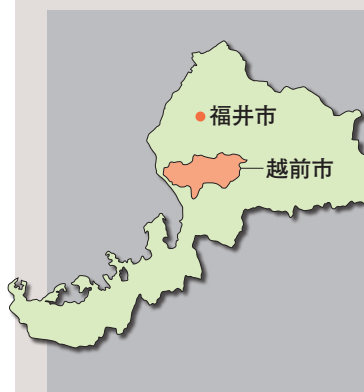
- ◆ 面積 230.7km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 8万337人
- ◆ 世帯数 3万1295世帯

〔将来都市像〕 幸せを実感できるふるさととウェルビーイングの越前市  
〔まちの特徴〕 国府が置かれ、長い歴史に育まれた文化、伝統産業が息づく本物の技と風情があるまち

〔市町村合併〕 平成17年10月1日、武生市、今立町の1市1町が合併



越前市長 山田賢一



〔特産品〕 越前和紙、越前打刃物、越前箆筒、越前おろしそば、ボルガライス、中華そば、白山スイカ、水ようかん  
〔観光〕 越前和紙の里・紙祖神岡太神社・大瀧神社、タケフナイフビレッジ、紫式部公園・紫ゆかりの館、道の駅「越前たけふ」、武生中央公園、越前の里味真野苑  
〔イベント〕 あじまの万葉まつり、千年未来工芸祭、武生国際音楽祭、たけふ菊人形、源氏物語アカデミー

分の可能性を引き出し表現できる「舞台」という2つの場の創出が必要だと考えています。本市独自の手法によって評価しながら、地域活動などのコミュニティにおける市民の幸福実感（ウェルビーイング）の向上を図り、住んでいる人が誇りを持ち、住み続けたい、帰ってきたいと思える「新しいふるさとづくり」を市民、そして地域とともに、目指してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## みんなをつなぐ ワクワクふるさと和光

和光市は、埼玉県の南東部にあり、東京都と隣接し、市域は都心から15〜20km圏内に位置します。武蔵野の面影を残した豊かな自然に恵まれており、県営和光樹林公園の広大な緑、荒川の雄大な流れ、市内各所で湧き水や緑豊かな斜面林があり、都市生活に彩りを加えています。古くから交通の要衝であり、江戸時代には、川越街道に白子宿がおかれ宿場町としてにぎわいました。現在では、東武東上線や東京メトロ有楽町線・副都心線、東京外かく環状道路などが走り、通勤、通学、レジャーにと交通アクセスに優れています。市内には、桜の名所として知られる和光樹林公園や埼玉県内最古の部類に入る旧富岡家住宅を移築復元した新倉ふるさと民家園など見どころがあります。

東京の近郊都市として発展を続け、豊かな自然環境と便利な都市環境を併せ持つまちとして、現在も大きく躍進を続けています。

### 公民連携施設「わびあ」

わびあは、「市民・行政・民間事業者」みんなでつくる交流拠点」を基本理念に、PPP／PFI（公民連携）事業で令和3年12月に誕生した、和光市広沢エリアにある複合施設です。

本施設は、総合児童センター、市民プール、おふろの王様和光店などからなる北エリア、保健センター、認定こども園、児童発達支援センターからなる南エリアで構成されています。

総合児童センターには、関東最大級の屋内大型複合遊具「わびあタワー」や音楽スタジオ、シア

ターアリーナがあり、その中でも、公共施設全国初導入の「HADO」は、現実世界を舞台にエナジーボールを放ち戦うARスポーツとして注目を集めています。市民プールは、可動床を導入しており、子ども向けのスイミングス



わびあ夏まつり2022

クールや隣接する小中学校の授業利用としても活用され、学校プールの統廃合に効果がありました。おふろの王様和光店は、子育て世代の女性をメインターゲットとし、地下1500mから湧出する豊富な天然温泉を使用した各種浴槽や白樺林をイメージしたラウンジで、何もせずにくつろげます。また、わびあでは、子育てに奮闘しているママたちが楽しめ、子どもたちも笑顔いっぱいになる「mamaマルシェ」を市内のママたちが立ち上げ、リサイクル会やワークショップを企画するなど、地域を巻き込んでいくさまざまなイベントを開催しています。

### 和光市版 スーパーシティ構想

本市では、全世代の移動の自由の確保を目標として、情報通信技術や自動運転技術などを活用した「和光版MaaS構想」を掲げています。この和光版MaaS構想を中心に、市内の各拠点が有機的



自動運転バス車両イメージ



スマート交通システムによる課題解決イメージ

に結ばれた都市づくりを目指すものが、和光市版スーパーシティ構想です。

和光市版スーパーシティ構想は、「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の三つの要素で構成されています。

コンパクトは、既存の公共交通である路線バス、市内循環バス、タクシード、新しい移動手段である自動運転バスやシェアサイクルを、情報通信技術を活用したスマホアプリにより最適に組み合わせ、移動手段をシームレスにつなぎ、検索・予約・決済を一括して行うサービスの導入により、時間軸におけるコンパクトな



和光市駅北口再開発イメージバス

「再開発事業」と「和光北IC周辺地域開発事業」の二つの新たな拠点を整備し、これらを含めて、市内の各拠点との連結を推進します。スマートは、情報通信技術を活用したスマホアプリなどに加えて、自動運転バスの導入を行います。市内北側における市民の移動手段の中核となるよう、一部バス

まちを目指しています。この新しい交通サービスにより、公共交通の利便性を高めて、高齢者や障がい者などの交通弱者を含む市民の皆さまが、迷わず市内を快適に移動できる環境を整備します。また、駅、市役所、病院といった生活に必要な都市機能を連結します。

専用車線を整備して、和光市駅と和光北IC周辺地区の二つの拠点を結ぶ取り組みです。国が推進している未来技術社会実装事業に選定され、国や埼玉県、地元の自動車製造メーカーをはじめとした民間事業者とともに、事業を推進しています。

## プロフィール

- ◆ 面積 11.04 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 8万3599人
- ◆ 世帯数 4万2761世帯

〔将来都市像〕みんなをつなぐワクワクふるさと和光

〔まちの特徴〕都心への優れた交通アクセスと、樹林公園や湧き水など豊かな自然環境が魅力の快適環境都市

〔特産品〕ニンジン、和光ブランド認



和光市長  
柴崎光子



定商品（おろし金、新倉うどん、和光サブレなど）  
〔観光〕和光樹林公園、新倉ふるさと民家園、税務大学校租税史料室  
〔イベント〕ニッポン全国鍋グランプリ、和光市民まつり、和光ロードレースフェスティバル

よう整備を目指します。また、新たに整備する和光北IC東部地区内に避難所機能を導入し、防災機能の向上を目指します。  
コンパクトで自立した都市づくりを推進し、子どもから高齢者まで世代を問わず全ての市民が気軽にまちに出歩ける環境を整え、ひと、まち、にぎわいをつなぐ地域公共交通により、元気で活気にあふれた本市を作り上げてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 「孫子の代まで住み続けられるまち」を目指して

美濃加茂市は、岐阜県中南部に位置し、古くから中山道の宿場町や木曾川運材の中継地として栄えてきました。鉄道や道路の利便性も良く、名古屋中心部へのアクセスもしやすい立地にあります。それでいて、木曾川と緑豊かな山地が広がる住みよい環境も魅力の一つです。

### 里山千年構想

本市には、里山と呼ばれる住環境と近接した森や山があります。かつては薪や材木を産み出す資源として、人が大切に手入れをすることで自然と共存してきましたが、時代の流れでその資源が利用されなくなり、荒廃しつつあります。そこで、里山を再生して「千年経っても変わらない風景を残す」ことを掲げた「里山千年構想」

を平成25年に策定しました。

里山千年構想では、「里山整備」「資源活用」「里山活用」の三つの柱により、里山を現代の生活様式にあった新しい姿で後世に残していく取り組みを行っています。

里山整備は、地元の森林組合と地域が一体となって、危険木の除



里山 森のようちえん

去や間伐などを実施しています。

資源活用としては、間伐などの過程で生まれる木材を薪やしいたけ原木、木製品などに加工し、利用します。里山活用では、里山の自然環境の中で、想像力や注意力、観察力などを幼少期から醸成する「森のようちえん」をはじめ、フィールドワークを通じた里山教育を重視しています。

### メデイカルシティ構想とウォーキング推進

平均寿命が80歳を超え、健康であり続けたいと願う期間が長くなる中、身体的健康だけでなくメンタルヘルスの重要性が増しています。

本市は、令和2年に策定した美濃加茂市第6次総合計画「Walkable City Minokamo」において、「心の健



クアオルト健康ウォーキング

日本クアオルト研究所提供

康」体の健康」「社会の健康」を重視し、全てのひとが健康に住み続けられるまちの実現を目指しています。また、令和3年度には、メデイカルシティ構想を掲げ、「みのかも健康プラザ」を設立し、医療機関と連携することで、市民に対して医療だけでなく、健康を広く一体的に支えるような仕組み作りを進めています。

例えば、健康増進や生活習慣病の予防、うつ病の改善や予防に役立つとされるウォーキングを推進



リバーボートパーク美濃加茂

しており、民間企業の協力を得ながら、市や地域団体によるウォーキングイベントを数多く開催しています。令和4年度には、健康ウォーキングの一種である「クアオルト健康ウォーキング」のコースも設定されました。

## 女性支援施策「カミーノ」

美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略「Caninho(カミーノ)」は、女性が歩む人生の旅路の中で安心して歩ける、夢がかなえられる、ほっとできるまちを目指して策定されたもので、現在第2期の計画を推進しています。カミーノとは、ポルトガル語で「道」という意味があります。

地方における女性の流出は深刻な課題であるにも関わらず、都市部と比較しても、女性を取り巻く環境にはまだまだ多くの課題が残されています。そこで、本市では、女性活躍支援センター「Re:Ola(リオラ)」



多文化共生 外国籍市民防災訓練参加

外国人市民が増加していた平成21年に多文化共生推進プランを策定し、地域における日本人市民との共生や外国人市民の地域参画に取り組んでいます。特に、

を設置しました。このセンターは、みのかも健康プラザ内にあり、妊娠期から子育て、就労支援まで幅広い分野における相談窓口の設置や伴走型の継続的支援を提供しています。その他にも、女性が自分自身の魅力を再発見し、夢をかなえるためのスキルアップを応援するセミナーも開催し、幅広い年代の参加者から好評を得ています。

## 多文化共生推進

本市は、人口の約10%が外国人市民という特徴があります。フィリピン国籍、ブラジル国籍の割合が高く、その多くは永住者や定住者の在留資格を持ち、家族を含め中長期的に日本で暮らす傾向があります。

外国人の小中学生を対象に、初期適応指導教室「のぞみ教室」を開設し、日本語の習得や学校での集団生活に適應できるように支援しています。こうした取り組みにより、市内企業での外国人市民の就職や消防団、自治会活動への参加など、地域における活躍も徐々に増えてきました。

個性と柔軟性が求められるこれ

## プロフィール

- ◆ 面積 74・81km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万7173人
- ◆ 世帯数 2万3763世帯

〔将来都市像〕市民や団体、企業、そして行政が一体となって「歩き続ける」ことで、心・体・社会の健康を整え、誰もが豊かな暮らしを実現し、住み続けられるまち

〔まちの特徴〕古くから交通の要衝であり、自然豊かで、外国人市民比率の高いまち



美濃加茂市長 藤井浩人



〔特産品〕堂上蜂屋柿、梨、日本酒「御代桜」、自然薯など

〔観光〕ぎふ清流里山公園、リバーボートパーク美濃加茂、みのかも健康の森、太田宿中山道会館、ヤマザキマザック工作機械博物館

〔イベント〕おん祭MINOKAMO、夏の陣(花火)・秋の陣(中山道姫行列)、みのかも市民まつり、みのかもハーフマラソン大会

からの社会において、若い世代の多い外国人市民が地域で活躍し、日本人市民もさまざまな価値観を認め合うことで、世代や文化を超えて多様性のあるまちづくりの実現を目指しています。

令和6年には、市制70周年を迎えます。「孫子の代まで住み続けられるまち」を目指して、一人一人の市民の皆さんと一歩一歩、力強く、歩み続けたいと思います。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。





屋根付き市民ふれあい広場（仮称）パース図

期待されています。

## 地球の住人としての責務

令和3年11月に「出水ツルの越冬地」がラムサール条約湿地へ登録され、令和4年6月には本市が日本初のラムサール条約湿地自治体に認証されました。この認証決定に合わせて、2050年に二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。本市は、市民・事業者・行政が一体となり、地球の住人として、環境・経済・社会が調和したSDGsの達成に向け、これまでの取り組みを加速させるとともに、

再生可能エネルギーの地産地消など、私たちができることに積極的に取り組みます。

## 意識改革で変わる市役所

著しいスピードで変化する社会に対応し、未来に明るい展望を開いていくには市職員一人一人の意識と行動の変化が求められます。職員には、「役人」とは人の役に立つ人、「市役所」とは市民の役に立つ人がいる所ということを認識し、市民の役に立つために市民の声をよく聴く「職人」になること、そして行政のプロとして市民目線で行政に取り組み、真心を持って市民に接するという基本姿勢を求めています。

また、本年3月に東京都中野区で開催された「第15回全国都市改善改革実践事例発表会」では、本市の若手職員が行った業務改善「便乗でコスト削減〜空き家関連制度の効果的周知〜」を発表し、着眼点やプレゼン、資料作りが評価され、優秀賞とコメントーター賞を受賞するなど、職員の業務に対する意識も目に見えて変化してきました。

さらに、本年4月には、高い志

とプロ意識を持って市民に寄り添い未来を切り開く職員であるための行動指針を示した「クレドカード」を作成し、全職員に配布しました。この行動指針にも記した「市民のために仕事をすると」という原点を忘れずに、これからも市民と一緒にあって、活力に満ちあふれ、市民が安心できる明るい市政の実現に向け、一つ一つ確実に前進してまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 329.98 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万1689人
- ◆ 世帯数 2万5547世帯

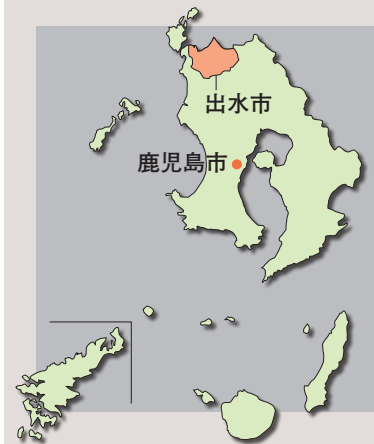
〔将来都市像〕 みんなでつくる活力都市 住みたいまち 出水市

〔まちの特徴〕 1万羽を超えるツルが訪れる豊かな自然と、400年前のまちなみが残るツルと歴史のまち

〔市町村合併〕 平成18年3月13日、出水市 高尾野町、野田町の3市町が合併



出水市長  
椎木伸一



〔特産品〕 卵、鶏肉、牛肉、焼酎、ミカン、イチゴ、メロン、ソラマメ、お茶、のり、みそ、しょうゆ、魚介、和菓子、洋菓子

〔観光〕 出水麓武家屋敷群（着物着付け体験）、武家屋敷ホテル、ツル観察センター、山奥にある天然温泉など

〔イベント〕 大産業祭、高尾野中の市、いずみマチ・テラス（竹灯籠まつり）、西日本オールドカーフェスティバル



職員の行動指針を示した「クレドカード」

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。